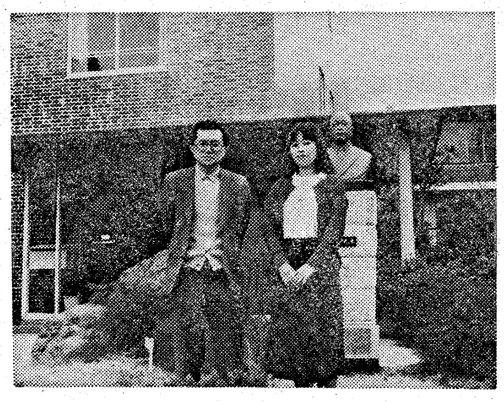
関大

発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋啟民蔵
電話 06(388)[21代表
振替口座大阪55594番

伝統によみがえった青春群像

"実学"に実りの春
キャンパス巣立つ若者

関大一中一七二人、一高四四三人、新学士四六八九人、修士一八一人、博士課程後期課程単位修得者一九人―。この春、関大キャンパスを巣立つ若ものたちである。その表情はさわやか。プランド名やCM用語などをいたずらに並べる「なんとなくクリスタル」族など一人もない。娘の学位記授与をみずに逝った父の遺言を背に、修士から博士課程後期へ進み、思想史の源流・中世に向け、通説への反論を試みる中村淑子さん。第一部法学部を一、二位で卒業した中松葉子、京子さんの双子姉妹は、在学中、法律研究会、法律相談所といった文化クラブでも活躍した。第二部の首席、答辞を読む商学部の矢部夫貴江さんは、税理士の資格を持ち、税務会計事務所に務めながらの通学だった。本学初の女性公認会計士を目指す。留学生も立派に育った。七人が卒業する。台湾からの静豊之（センシズノ）さんは、商学部中辻ゼミを出た。直ちには親元には帰国せず、米国へ。中国語、日本語、英語、フランス語を駆使し、ロスアンゼルスの米国三菱電子㈱のプログラマーになる。豊さんは母校関大への名残りをこめて卒業式には、民族衣装で出席したいという。体育会への意欲も強い学年だった。野球部は関西六大学リーグ二位、ラクビーはAクラスへなど。そのため甲子園出場の東洋大姫路のエースが、一浪のち今春、経済・学部に入学、早くも練習のマウンドにたがっている。関大生は、地道な努力の積み重ねの中で"シラケの悪夢"をけちらしたらしい。就職戦線が好調なわけである。理事会は、毎日新聞社の代表取締役専務（㈱毎日の社長だった稲野治兵衛・校友（16大政）を常務理事に選び、「新風を吹き込もうとしている。大学院法学研究科長の石尾芳久教授の寄稿にあるように"若い心にジワーッとくる講義"が、さらに、さらに、後に続く青春をはぐくむ。


石尾教授と優秀な修士論文で大学院へ進む中村淑子さん

「封建王政」に関する学界の通説に、真っ向うから立ちむかう試みをまとめ、立派な成績で、法学公法の修士号を受ける大学院の中村淑子さんは、博士課程に進学、さらに三年間の学究の生活へ。

淑子さんのお父さんは、娘の晴れ姿をみず、去る二月二十四日亡くなられた。徹夜の看病しながら復習したドイツ語の成績が、得意の英語よりよかった。学問の道へ、というのが遺言だった。

大学院法学研究科長の石尾芳久教授は悩まされた。学問の道は無限の可能性もあるが、徹底的絶望の恐怖も。まして女性には…、と家庭を訪ねられた。お母さん、会社を経営するお兄さんが、父の遺志を、一家あげての願い。淑子さんは、前記試論の本格的学究に入ることになった。石尾教授が「私学に学んだものにしか浮ばないだろう」という、今回のユニークな課題の完成が切望される。

留学生も晴れて…

卒業の留学生は、楽しかったことの一つに必ず、校友総会への招待を挙げている。

「大先輩方に優しい言葉をかけて頂いた」という**詹静之さん**。

子どものころ両親から、女性は日本の女のように、しとやかにと教えられたのが留学の動機。お父さんは旧制台北帝大を出られ、戦後は台湾大学の医学部教授。のち大阪大学で経済を学び直して、いまは台北で貿易商。

兄も姉も台湾に。末っ子の静之さんは、商学部・中辻ゼミで学んだコンピューター理論を、未知のアメリカで、プログラマーとして試す。ロスアンゼルスの日米合弁の米国三菱電子への就職は、在学中、お友達となった日本人女子学生と、三菱電機を見学にいったとき、自ら開拓したという。

劉豐福君は、新制になってからの法学を巣立つ台湾籍留学生の第一号だ。"日本万博"を見学した両親の話が印象深くて、というのが留学の理由だけに、"万博・校友総会"への招待は感激量だった。

日本語は書くことが一番むずかしい。入学したが、講義のノートが、さっぱり。それに法学部では留学生は私ひとり。

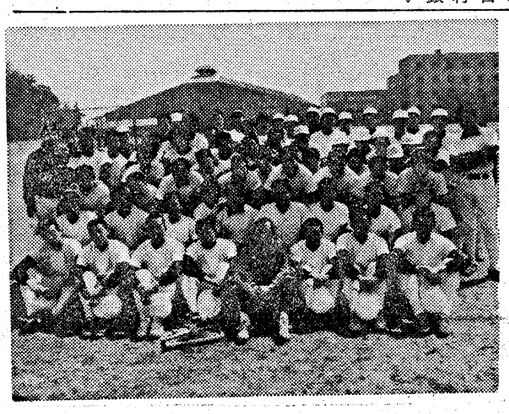
思いあまって有福建事務長に相談し、奥村郁三先生を紹介して頂いた。先生は私のノートに朱を入れ、日本語の書き方を、ずっと指導して下さった。

二年次に進むころには、ノートの苦痛ややわらぎ、日本の友もできた。三年次では奨学金も借りていただく。日本での就職が出来たのも両先生のおかげだ。

劉君の就職先は、大東市の船井電気㈱。工学部を出る**楊輝鴻君**も採用された。鉄井良男就職部次長のご努力、同社の総務部長が校友だったなど幸福が重なった。

双子姉妹が一、二位

"伝統の法学部"といえば、ナウい若い校友に笑われるかもしれない。今春の卒業生六一六中、女性は五〇人といえば、やっぱり書ながらの男っぽい学部。しかし卒業成績一、二位は**中松京子・葉子**の**双子姉妹**だった。それも三位を


甲子園組も入った新生野球部

法学部1、2位の中松姉妹

躍進の就職戦線
あとのホローも大切に

好調というよりも、異常躍進ともいえる今年の就職戦線だった。企業が景気動向以上に門をひらけたこともある。しかし就職関係の教授、職員による長年の地道な開拓が実ったこともある。学生諸君も意欲的だった。教育後援会が昨年六月二十九日、四年次の父母を対象に初の試みとして行った「就職説明懇談会」の成果も忘れてはなるまい。千八百余人の親ごさんが集まられたのだ。今年は、いちはやく三月二十二日に、三年次の父母を対象に千里山学舎で開かれる。

しかし現在の若者には転職への力べはないという。戦後派の両親も反対しない。しかし石の上にも三年だ。

経済学部の津川正幸教授は「ちょとした転勤や左遷ぐらいで転職するなど、親も子も甘ったれる世間はそんなに甘くない。社会に出れば、早く親ばなれ、子ばなれして、お互いに一人だちせにゃ」といわれる。

商学部の大橋昭一教授は「アメリカでは、一般の従業員はもろんのこと、社長や副社長の幹部クラスでも、他の会社にスカウトされ会社を変わった、といったニュースが日本に入ってくるが、実際は、アメリカでも多くの経営者は一つの企業にずっといるか、精々最終学校卒業後、ある企業に入り、そこを比較的早くやめて、その後現在の会社にずっといるようです」といわれる。

両教授も、また就職部の鉄井良男次長も、卒業後の追跡調査は、むずかしいので実態はつかんでいないが、悩んだときは気軽に母校に出向き、相談してほしいと、願っている。

樫本信雄校友会長は「今回の校友名簿の整備で、全国の校友の実態がわかり、また各地に地域支部もある。職場には職域会が。先輩は後輩からの相談事を心から待ってくれている」と励ましている。

就職状況は次の表の通り。ただし大学就職課へ連絡があった報告にもとづき、新卒者だけにかぎりまとめた。ちなみに大阪府庁は十人となっているが、五十一年と五十三年の卒業も入っており、採用校友は十二人という例もある。

◇九人　樫山▽近鉄百貨店▽大日本スクリーン製造▽大日本印刷▽日本楽器製造▽日立製作所▽ミドリ十字

◇八人　イズミ▽イトーヨーカドー▽内田洋行▽NTT東洋ベアリング▽京都セラミック▽西武百貨店▽日本エヌ・シー・アール▽松下冷機▽森精機製作所

◇七人　関西相互銀行▽ダイエー▽竹中工務店▽大和銀行▽ナショナル住宅建材▽日本ケミファ▽富士通

◇六人　鐘紡▽上組▽紀陽銀行▽協和銀行▽熊谷組▽サントリー▽三洋電機▽三和銀行▽タカラスタンダード▽日本電装▽長谷川工務店▽不動建設▽山一証券▽山善▽レナウン

◇五人　エスエス製薬▽大阪銀行▽大沢商会▽カネボウ化粧品▽京都銀行▽くろがね工作所▽国民金融公庫▽阪田商会▽住金物産▽住友商事▽センコー▽そごう▽大丸▽デサント▽ナカバヤシ▽日本コンデンサ工業▽日本国有鉄道▽日本生命（外務）▽日本通運▽野村証券▽バンドー化学▽阪神相互銀行▽富士ゼロックス▽丸大食品▽ミノルタカメラ

センパイ！よろしく

事業体名	計	文	工
シャープ	45	19	26
松下電器産業	37	8	29
大阪府教育委員会	32	26	6
ジャスコ	31	29	2
国税専門官	26	26	0
兵庫相互銀行	22	22	0
大阪府警察本部	21	20	1
積水ハウス	21	9	12
近畿相互銀行	18	18	0
国家公務員（中級）	18	14	4
ニチイ	18	16	2
関西大学	15	15	0
福徳相互銀行	15	15	0
やまと	15	14	1
国家公務員（初級）	15	15	0
兵庫県庁	15	14	1
大和ハウス工業	14	7	7
日興證券	14	14	0
松下電工	14	5	9
菱電エンジニアリング	14		14
タカラベルモント	14	12	2
鴻池組	12	12	0
日本電気	12		12
コクヨ	11	11	0
コイズミ	11	10	1
大阪府庁	10	10	0
日本専売公社	10	9	1
日本電信電話公社	10	8	2
ハウス食品工業	10	9	1
ヤマハ発動機	10	10	0
ワール	10	10	0

新学士は四、六八九人

昭和五十五年度の学部卒業式は三月二十五日の水曜日に行われる。第一部の経済（六五九人・総代・田中庸喜・うち女子三六人）、商（六四七人・岡村和彦・三九人）、工（一、一四一人・福住一男・五人）の三学部は午前十時からで答辞は工学部の堀井功君、法（六一六人・中松葉子・五〇人）、文（六三四人・藪孝子・三七二人）、社会（六八七人・根来淳子・一八七人）の三学部は午後一時から。答辞は法学部の中松京子さん。以上いずれも千里山学舎で行われる。第二部の卒業式。法（八七人・山本隆一・五人）、文（六〇人・李浩明・一八人）、経済（六六人・森本澄一・三人）、商（五三人・金哲洙・三人）、社会（四三人・浅野美穂・六人）の五学部で、答辞は商学部の矢部夫貴江さん。計四、六八九人（うち女子七二四人）の新学士の誕生である。法学部の一、二番が双子のご姉妹であり、答辞の三人のうち二人、各学部総代十一人中、四人までが女子卒業生だった。

なお追試の発表は三月末。五、〇〇〇人近い新校友が、わたしたちの校友会に、まもなくはせ参じてくれることになる。

学位記授与式

本学大学院の学位記授与式は三月二十七日に行われる。

修士の学位を授与される者は法学五人（山田幸男・代表）、文学三十六人（中島茂）、経済学一人決まっている。

関西大学の古きよき伝統

法学部教授　石尾　芳久

正義への愛こそが関大の建学の精神

今から二十年ばかり前、私たちは、関大にできるだけ多くの志願者が、全国から集まるように、出身高校を中心とする地方の高校（私の場合は鳥取・鳥根方面）を、関大の写真やパンフをもって"セールスマン"の如き恰好で遍歴したことがある。

訪問先の高校の方から、そのような大学紹介の方式について、とかくのご批判を受けたこともある。しかし、そのころの私たちは、恰好なんかどうでもよかった。関大をよりよき全国的な大学にしたいという一心が、学生諸君とともにあるのみであった。

無限の発展の可能性を信じていたといってよいかもしれない。関大の建学の精神は、正義への愛である」ということである。これが関大の古きよき伝統である。

伝統は実践の連続を勇気づけるもの

伝統とは、単なる因襲では決してない。自らの自覚において実践的発展をなそうとする、そのような方向に、われわれを勇気づけてやまない連続性の精神である。私たちは、この関大の古きよき伝統を信頼して今日にいたった。

現代の関大には、全国各地から七万人近い志願者が殺到する。雪の道を踏みしめて各高校を訪れていたころのことを思うと夢のような話である。それにもかかわらず昨今の関大には、燃えるものが失われていないだろうか。われわれを勇気づけてやまなかった古きよき伝統が、ともすれば見失われている。

人間には、各個人それぞれに無限の発展の可能性がある。苦しみ悩んでいる人ほど、より確乎たる発展の可能性をもつ。これが私の信条である。関大の古きよき伝統にはぐくまれて、ようやく到達することができた心情である。

シラケは謙虚に見えるが実は傲慢心

率直にいって学生諸君のなかには、自らの無限の発展の可能性などということを拒否して、自棄的諦念をもって自らを認識し、またすべてを冷眼視・傍観視している諸君が存在するのではなかろうか。今はやりの言葉でいえば、シラケの気分である。

それは一見、謙虚なようにみえて、実は大変に傲慢な精神の持ち主であることを暴露しているのではなかろうか。もし諸君が苦しんでいる人、悩める人の心に真に共感するというならば、とてもシラケの気分に浸っているような余裕はないはずである。シラケの気分の帰着するところは、生きながら既に死んでいる精神的状況である。

若い諸君は、そのような精神的状況で、これから何十年も生きていくつもりなのであろうか。このような精神的状況においては、教師や友人との真のふれあいは、既に欠落しているのである。

半年経ちジワァーっとくる講義を！

私は一枚の答案を常に携帯している。解答の後書きに「半年経って十一月ごろでしたか、そのころから、なんだかジワァーと、わかるようになったのです。学問の重みというか、深さというかが…」そして**「半年経ってジワァーとくる講義」**を指摘してくれている。

私は、これを"自慢話"で記しているのでは断じてない。すべての教師が関大において、この一枚の答案の感想によって深い感動につきうたかされるような、そういう気持ちで講義をしているという事実があるということをいいたいのである。

卒業生のみなさん、学生諸君。関大の"古きよき伝統"をもう一度復活させるべく、お互いに努力しようではないか。

稲置主任にチャイナドレスをみせる詹（せん）さん

税理士の資格をもつ矢部さん

答辞は女性税理士

第二部首席で答辞を読んだ**矢部夫貴江さん**（㊐）は商学部。高校のあと経理専門学校で二年学んだ税理士さん。税務会計事務所に勤めながらの通学では、男子学生は貫録負けか。同文学部（教育）を優秀な成績で終えた**伊藤美佐子さん**（㊐）は聖母女学院に勤める娘さん。リハビリの実技訓練の指導をしているが、学校で学んだ"心理教育"をミックスさせていきたいと意欲的。同・文学部（哲）の**中川通一氏**（㊐）は二人の子どもさんがある。四十年に第一部の文学部に入り、四年次、前期までいきながら学生運動＝学友会教宣部長＝への挫折から中退、十年後に二部に入り直しての卒業だ。

「身ぜんを切ってのものだけに、勉強にしろ、クラブにしろ、二部は意気込みがちがう。千里山の気質も変わった。古い関大の志は、わずかに天六に。しかし、これも消えそうだ」。

家庭裁判所調査補試験に合格した**山崎敬子さん**と**安部和沖・小畑喜彰の両君**は、合目的に学んだ若ものといえよう。ともに第一部の社会学部で心理学を学び、これを生かすのだ。山崎さんのご両親は札幌に。しかし敬子さんは徳島へ赴任していく。

スクールカラーは、その大学の"看板"運動部でわかる。一時の同好会志向が、ここにきて、在学四年間、体力もきたえようと体育会へと、流れが変ってきた。五十余人となってAクラス入りのラグビー部、推薦がなくなり十七人にまで落ち込んだ野球部も、いまは七十余人。グラウンドが狭くなってきた。浪人組が多い関大の入試、青春途中の訓練中断はダメージが大きい。個人競技は絶望だ。チームワークの団体競技、それも"親和"学園の新しいキャッチフレーズになるかもしれない。体育課などで新入部学生の現役、浪人比率を調査されることも必要だろう。

奥村教授（右）と有福事務長の世話で法学部卒業（左）の劉君

「紫紺賞」の記念盾
工学部の八修士に贈る

大学院工学研究科修士課程の八名は工学研究科博士課程前期課程土木工学専攻を出られた、故・栗原隆之氏が、去る昭和五十四年三月、上越新幹線工事中に殉職され、同氏のご尊父が、志半ばにして浅春の雪降りしきる谷川山ろくの暗黒の大清水トンネルの冷水に身を沈めながら、万斛の想いを残して去っていた隆之氏の遺志を偲んで、愛児の母校である本学に多大の寄付をされたことが契機となって創設された賞である。

本学では、これを母体とし、その後、この主旨に賛同された学内、外の有志による寄付金を加え、この果実をもって毎年、工学研究科修士のうち、特に人物、学力の優れたものを選び、これを称え、この賞を贈ることにした。人生の門出にあたり、亡き先輩の志を継いで、社会において立派な業績を果たされんことを祈る。

今年の受賞は次の通り。

中野利男（機械）▽水浪和人（電気）▽越山英樹（化学）▽池田勝彦（金属）▽相良武士（応化）▽土師秀人（土木）▽芳村隆史（建築）▽三村芳明（電子）。

"ギフト最適"
明るさ、新しさ、豊かさを誇る
パース・カバン・ハンドバッグ専門卸商社
株式会社 廣島屋
代表取締役社長 藏田廣造
（昭25学1経）
本社 〒541 大阪市東区博労町1-26 TEL 06-(261)-2431
営業所 大阪・東京

カタノコラヌ　カタノクスレヌ　カタノ洋服店
最高のおくりものカタノ紳士服
お仕立券・お誂え券
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通
大阪駅前店 電話〇六(231)〇五六五～七
心斎橋店 電話〇六(341)〇七九二
近鉄百貨店特撰紳士服コーナー 電話〇六(213)〇一九二
上本町店・枚方店・奈良店 ホリデイイン南海2F

●サラリーマンの財産づくりに―
ダイワ 財形信託
●天引きで貯めやすい
●高利回りの信託
●積立金は1,000円から
●㊗とは別枠で500万まで無税の特典
長い人生――頼りがいある銀行を持つべし。
大和銀行

吉永登著
万葉―その探求
A5判 上製本函入り 三二〇ページ 定価四八〇〇円 〒三〇〇円
六十有余年を万葉の探求ひとすじに捧げた碩学の名著待望の刊行
〈目次〉「籠」の訓みについて／初期万葉と叙景歌／「うるはし」と「うつくし」／中大兄はいつ九州から帰ったか／飛鳥浄御原宮―その位置をめぐって／トブトリノ明日香／人麻呂における天照大神と神武天皇／阿騎野の歌二題／「先太上天皇」について／大幸帥大伴卿の贈題歌／問答歌の展開／秋萩の恋／「鵜川を立ち」か「鵜川を立て」か／「ゆゑ」について／「楯立つらしも」の背後にあるもの／已然形について／条件法覚書／「楫」をめぐって／「いすくはしくちらはさやる」

昭和34年、木造の町工場から発足し株価日本一、世界的な一流企業に成長した京都セラミックの若きリーダー稲盛和夫とその社員たちの織りなすドラマを描いた感動の書。
ある少年の夢 京セラの奇蹟
加藤勝美著　B6判　四一四ページ　九八〇円　〒二五〇円
残り少なくなった現役創業社長の滋味あふれる対談集
岩谷直治あるがまま対談 ご縁ですナ
B6判　四二五ページ　一四〇〇円　〒三〇〇円
ゲストに関大法学部出身の上田利治阪急ブレーブス監督
関大校友辰巳柳太郎らが登場
関大法学部出身（昭和31年卒）の著者による書き下し。
江州商人・越後正一
眞島弘著　B6判　二四五ページ　一四〇〇円　〒二五〇円
手記募集中
昭和ひとけたの戦後体験
四〇〇字三〇枚前後　締切六月十五日　募集要項呈
現代創造社 〒五四一 大阪市東区淡路町四丁目六〇番地（八雲ビル） TEL 〇六(二〇〇)三五七一(代) 振替 大阪三一〇七六八

TOMORROW! たしかな明日のために　住友信託銀行
財産づくりの早道！
住友の財産形成信託
●㊗300万円と合わせて800万円まで非課税。
●積立金は1,000円単位でしかも給料・ボーナスから天引きです。
●積立金は元金保証の住友の金銭信託・貸付信託を中心に運用しますから安全で高利回りです。
たしかな明日のために……
幅広い業務をお役立てください。
住友の貸付信託・住友のルック（海外旅行）信託
住友の金銭信託・住友の交通安全信託
普通預金・通知預金・定期預金
不動産の売買の仲介・株式代理売買など
●くわしい資料をお送りします。
下記の住友信託銀行へご請求ください。
本店営業部
大阪市東区北浜5丁目（新住友ビル）
電話(06)220-2121(代) 郵便番号541

3特別委の設置など策定へ

28日定例代議員会

意欲の事業計画ぞくぞく

百周年の栄光の夢は、一日も早く現実路線にならねばならない。あと五年しかないのだ。法人関西大学では三月三十日に定例評議員会を開催し、昭和五十六年度の大学予算を、昨秋選出された新評議員で、審議される。一方、校友会の理事執行部は任期最後の年度にあり、三月六日に第八回常議員会を開いた。役員政選、百周年事業、校友会財政基盤確立の三特別委員会の設置を含めた、意欲の事業計画案を策定し、二十八日、関西大学会館で開かれる第三十五回定例代議員会に提出することになった。案では今秋の校友総会は母校の千里キャンパスでの開催を目指している。オール関大人の汗と涙がしみこんだ自然の旁廳を誇る会場だ。〝人の親和〟の学歌が高らかにうたいあげられることだろう！

大阪証券会館で開いた第8回常議員会

第八回校友会常議員会は三月六日午後五時三十分から、大阪東区の大阪証券会館で開催された。

会議は昭和五十六年度の事業計画案に向けて、総務、事業、広報、組織、財務の五部長（広報、組織の両部長は上京中のため、各副部長が代行）して詳細な立案状況が説明された。

最後に樫本信雄校友会長は「苦しい財政の中、意欲的な活動を目指すが、二十八日の定例代議員会で承認されたならば、執行部最後の年度だけに、目的達成のためがんばってほしい」と励ました。

さらに、久井忠雄・理事長と関甲同期の居口耶太郎が、新民劇の新生をかけて、四月、大阪・新歌舞伎座で公演することにふれ、協力を要請した。

その後も居口氏から会長あてに、しばしば電話が入り、「大阪に飛んで帰って、校友のみなさんにお願いしたいが、二十九日まで名古屋名鉄ホールに出演しているので、なにぶんとも」の訴えがあったという。

総務部長　荒井　廣

今年の校友総会は母校の千里山キャンパスで行うよう提案したい。昨年の代議員会、いや一昨年から要望されていたものであるから、九十五年にあたる今年、ミニ百周年としても実現したい。

総会の審議の後のアトラクションとか講演会などをはやめて、それぞれの組織が、友と、あるいは先生と、心から集い語り合おう。

事業部長　倉谷　精一

親睦団体の事業は、定例化したものを確実に行うことが大切。見学会、学生への助成など従来通り続けていくほか、ことしは夏期特別研修講座を企画したい。

昨今の課題である母校百周年にむけての事業準備のため、今年こそは特別委員会を発足させて、校友のみなさんの斬新な意見を早く集約していきたいものだ。

広報副部長　一軸　浩幸

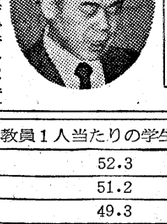
一部二十五円から四十円への郵便料の大幅な値上げで、限ぎられた財源の中での、執行部全体の活動に、たいへん遺憾をかけるが、手づくりのこの新聞は、なんとしても続けさせてほしい。昨今の発行日の遅れについては、おわびし今後の適切な対策を考えたい。七月号は三〇〇号、みなさんの

組織副部長　神戸　善弘

55年版校友名簿の完成で、校友会事務局に、終身会費の納入の有無まで付した〝地域別校友名簿〟を備え付けられた。この資料を駆使することで、多彩な組織活動が効率的にできるだろう。

校友総会が十月の予定ならば、すくなくとも二か月前の九月には、全国代表者会議を開き、総会への意欲を盛り上げていきたい。

財務部長　山本　守昭



郵便料等の値上げで苦しい収支予算になり、総会等は、校友有志の相当なご厚志を組み入れて、やっと案をまとめたのが実情であります。ご協力をお願いします。

校友財政の今後を、試算しましたが、早急に〝予納会費全納制〟に踏み切るほか道がなく、これには多くのカベもあることであり、特別案を設置研究して頂きたい。

みんなで構築しよう今年の総会

われらが校友のチエと汗で一九八一年（昭和五十六年度）の校友総会は、千里キャンパスで〝関大創立ミニ百周年（実際は九十五年）祭〟として華やかに催し、五年後の栄光への〝跳躍台〟としよう。

カットは岡本寧夫・校友会常議員（36学一哲）。

事業計画書（案）

昭和五十六年度は、任期満了による本部役員の改選期に当たっている。そのため校友総会を機に新役員選考のための諸日程が予定されている。

一方母校創立百周年を五年後に控え、本年度は母校のキャンパスでの校友総会の開催、校友の実態把握、支部活動の推進、未登録組織の集約化など、一連の幅広い活動を通じて、基盤の整備をはかりたい。

なお、たび重なる新聞郵送料の値上げをはじめ諸費高騰にともない、校友会財政の確立は緊要の問題となり、長期展望に立った施策が急がれる実情にある。これは特別委員会を設置して検討していきたい。これらを背景として、本年度の主要な事業計画を次の通り策定した。

1　校友総会の開催と役員の改選

本年度の校友総会は、百周年に向けて愛校心を一層喚起するため、十月十八日の日曜日に、母校千里山のキャンパスを会場に開催するよう企画したい。

また本年度は、ゼミOB会組織にも呼びかけ、支部、職域、同期等とともに、組織ぐるみ総会構想を立てて、より一層動員態勢を整えるなど、充実した運営をはかり、百周年への足掛りとしたい。

なお、本年度は役員の改選期に当たり、校友総会では〝任期満了による代議員の改選〟が審議される。従来の選考日程では、代議員の改選は特別委員会の下で選考作業が進められ、選考結果は十二月下旬に会長に答申、翌年一月上旬会長より新代議員を委嘱、一月下旬の臨時代議員会で正副議長、会長、常議員、監事の選任について審議し、新執行部が出揃うのは三月初旬である。

2　機関紙〝関大〟の発行

郵送料の大幅な改訂にともない年間二千六百五十万円を超える新聞発送費を要し、機関紙〝関大〟の発行は、大きな壁に立ち向かうことになったといえよう。

しかし校友の手づくりで、母校のホットニュースを校友の家庭に〝直接とどける〟私たちの新聞〟はなんとしても続けたい。広告料金の三割値上げ、編集費の効率的運用、新聞発行協力金等へのお願いなどで、二九七号から三〇七号までの発行を確保したい。

創刊三〇〇号に当たる七月には、記念号（六〇ページ）を企画する。

3　名簿事務の推進

昭和五十六年二月刊行の校友名簿（昭和五十五年版）によると、校友の延べ人員は、十七万四千五百二八、そのうち重複卒業を除く、実校友数は十五万六千百二十一人である。実校友のうち住所判明校友は十万七千八百九十三人（六九・一％）、連絡（能校友三万九千二百七十五人（二五・二％）、物故校友八千九百五十三人（五・七％）であることが判明した。

五十一年版校友名簿以来、コンピューター管理している名簿ファイルについて、一層内容が充実するよう検討を加え、百周年に向けて校友の実態把握に機動性を備えたい。なお、本年四月には約五千人の新校友を迎えるため、十月上旬には新卒業生の単冊名簿を発行の予定である。

4　組織の拡充強化

昭和五十五年版校友名簿刊行を機に、校友の「地域別名簿」を整備することができた。

本年度は、この名簿を地域支部実態調査の実施等の諸事業を推進したい。

既成支部の充実、未組織地区の組織化につとめ、強化の具体化をはかるとともに、なお、この名簿は終身会費払い込みの有無も区別しているため、これを機会に支部組織を通じて、会費収納の促進を呼びかけたい。また、ゼミOB会など校友会未登録組織について、その実態把握と集約化につとめ、校友総会への結集を求めるとともに百周年のため組織に組み入れるよう検討していきたい。

その他、新たに学内職員との懇談および協力の促進をはかるほか、継続事業である全国組織代表者会議の開催、組織委員の具体化地方支部総会への働きかけ、支部実態調査の実施等の諸事業を推進したい。

5　事業活動の推進

本年度は、課題である母校創立百周年のための準備委員会を発足させ、校友の態勢づくりを検討していきたい。

なお、会員の教養に資する催しとして、従来の見学会を継続実施するほか、本年は新たに夏ごろ特別研修講座を企画したい。その他継続事業である学部役職者との懇談会、在学生との懇談、留学生との交流等校友会へのアプローチをはかる諸事業を推進したい。

また、地方支部が行う母校教授を迎えての公開講演会など、関大文化を地方に広める催し等には積極的に提携していきたい。

6　会員の慶弔

会員の慶弔については、内規によって慶弔の意を表している。漏れなきを期するため、校友各位の連絡をお願いしたい。

7　財政基盤の確立

最近の公共料金をはじめ諸物価の高騰、とくに五十六年一月実施の郵便料金の大幅な値上げは、新聞発送単価だけでも、一通二十五円から四十円に改定され、予算編成上予測を超える新聞発送費の支出増をもたらし、現状のままでは校友会財政の危機必至の実情にある。

財政基盤の確立のため、早急に予納会費全納制の問題、校友会社団化の問題等に関する特別委員会を設置して、それぞれ検討を加え、長期展望に立って問題解決に取り組みたい。

収支予算書（案）

普通会計　　単位千円

支出 費目	55年度予算	56年度予算
人件費	39,000	42,172
給与	26,780	28,672
期末手当	8,450	9,080
通勤手当	660	720
社会保険料	2,110	2,700
退職給与繰入金	1,000	1,000
物件費	10,215	6,147
備品費	200	200
消耗品費	470	470
印刷費	1,120	1,507
通信費	1,455	1,700
会費収入	1,170	1,000
協力金受入	5,000	500
交通費	250	250
清社会費	100	120
雑費	450	400
会議費	1,310	1,410
会議費	350	350
会議費	260	260
代議員会費	150	150
常議員会費	300	300
部長会費	250	350
特別委員会費		
事業費	38,192	42,683
会議費	6,550	5,000
業務費	600	600
印刷費	5,376	5,810
発送費	20,600	26,157
諸費	816	816
会化費	950	950
議助費	700	700
総会費	300	300
論会費	2,000	2,000
関西大学会費	100	100
関西大学会費	200	250
集部費		
部者費		
表者費		
生費		
会費		
弔費		
慶弔費		
新聞編集費		
新聞発送費		
編集費		
支部費		
代議員費		
学費		
学費		
慶費		
渉外費	300	300
割戻金	400	400
予備金	3,028	1,188
合計	92,445	94,300

収入		
前期繰越金	7,000	7,500
会費収入	34,000	42,000
会費	1,000	1,000
終身受入金	33,000	41,000
会費外収入	51,445	44,800
広告料	5,500	6,500
校友業務受託費	18,945	20,800
利息	10,000	10,000
新聞発行協力金	10,000	2,000
総会収入	6,000	4,500
雑収入	1,000	1,000
合計	92,445	94,300

応援団精神を強調

千成会総会　百周年には植樹寄贈

関西大学千成会本部は三月七日（土）午後一時半から、母校・関西大学会館で総会を開催した。

母校から久井忠雄理事長、稲野治兵衛常務理事、金田雅一理事、広瀬檜三・元学長、樫本信雄校友会長、矢野文雄代議員会議長ほかの臨席を得、岡田知巳・関東、粟田文吉・中国、尾中治・徳島の各地千成会委部長をはじめ、全国からの同志七十八人が集まった。

まず慰霊碑の前で、片岡恒次郎会長が献花、小野永一郎名誉相談役の献酒、一同黙とうを捧げて故人を偲んだ。

総会は河合光照副幹事長の司会で開会した。あいさつに立った片岡会長から、わが千成会は母校愛に徹し、真の応援団精神を堅持する同志の集まりであることが強調された。

各来賓からの祝辞のあと、徳山喜昭副幹事長に表彰状と記念品が贈呈された。多年の現役指導の労をねぎらうとともに、昨年、母校教育後援会会長に推挙された栄誉を讃えてのもの。徳山氏から感激にあふれた謝辞があった。

当日の議題のうち、母校百周年の千成会事業について、幹事会では、教職員・学生の憩いの場ともなる植樹の寄贈を最適としたことが報告され、全員異議なく承認された。最後は八沢倶好大先輩の発声で万歳を三唱した。

なお、国会常議中の原田憲・名誉相談役は、ご子息の雪司氏を代理出席させられた。感謝にたえない。（福永利一幹事長記）

千成会総会

すき鍋を囲み和気あいあい

宝塚支部「葦水会」

関西大学校友会宝塚支部「葦水会」総会は二月十三日夕、宝塚市湯本町の鐘紡健保組合宝塚保養所で開催、伊藤六祐支部長ら同支部メンバー二十四人のほか、関大神戸倶楽部からも山崎敬義理事長、内海照同常務理事＝いずれも大正14年卒＝ら長老も参加。スキ鍋を囲んでの懇談の中で元検事でいかめしい山崎先輩から「学生時代には、阪急西宮駅から歩いて少女歌劇に通ったものだ」と六十年昔の宝塚の甘い思い出話などもとびだすと和気あいあいのふん囲気。昭和三、四十年代卒業の会員たちからは「ぜひ若い宝塚在校友もどしどし参加するよう、自分らが積極的に動きましょう」とたのもしい前向き提案に拍手がわいていた。

なお、芦田校友会副会長、神屋敷事務局長、篠原茂一毎日新聞編集局次長（毎日関大会副会長）らも出席した。

名簿発行を主要事業に

大阪・南支部

大阪・南支部（坂本龍夫支部長）は二月十四日の夕、ミナミの大成閣で総会を開いた。本部から樫本信雄校友会長を迎え、約二十人の集い。

今回は、校友会本部から南支部在住者リストを借り受け、百五十五人に総会を知らせた。八十通の回答（出席十七、欠席四十二、その他二十一）を受けた。回答なし六十七。返送は八通だった。

八十二歳になられる吉田季夫長老（大14大法）も、お元気な姿をみせられ、樫本会長と談笑されていた。支部では、久しく途絶えていた名簿発行を、今年の主要な事業とすることを決めた。

守口支部総会

「頼もしい限り！」

守口支部総会　市長が敬意を表明

守口支部（積村益久支部長）は、二月二十七日の夕、守口市民会館に七十余人の校友が参集して、総会を開催した。

再建三年目に当たる同支部では、校友活動は会員の掌握からと、地元の職域会の守口市役所純正会、市教職員関大会、三洋電機秀麗会等も網羅した「守口支部名簿・56年版」を刊行した。五百余人の校友名が掲載されている。

来賓出席の木崎正隆・守口市長は、「当市の関大校友議員（三十議席中に七人）は常に指導的役割にあり、在住校友五百人は、大きな力である」と敬意を表された。

総会議案の任期満了による役員の改選では、全役員がほぼ再任。新役員は次の通り。

◇支部長　積村益久（24専二商）◇副支部長　菊地　博（24大経）▽雑賀幸夫（24大経）▽中元　孝（27院修公）▽中西修三（32学二経）◇顧問　木崎正隆（守口市長）▽大江久弘郎（大15専法）◇◇相談役　北村正治（13大法）◇幹事　広瀬浩三（25専一商）▽喜多洋三（32学二法）▽大野　正（30学二経）▽山元時義（12専二法）▽清水仁一郎（26専二商）▽福田幸一（20専一経）▽柏原俊孝（16専一経）▽大川原与一（9専二経）▽戸田道行（31学二経）▽村上忠士（29学一法）▽田淵　猛（29学二史）▽広川弘光（42院修哲）▽池上徳剛（45学一経）▽山田能久（46学一法）▽吉崎幸孝（38学一法）▽奥川晴郎（36学一経）▽平井　治（39学二経）▽中本勇（12専二法）

大阪・南支部に集まった人々

その名は「喜友会」

安喜ゼミOB会が初総会

経済学部・安富博彦教授ゼミのOBが集う「喜友会」の初総会が、二月二十二日午後一時から、大阪上六のレストラン・都で開かれ、五十一人（うち現役十九人、女性九人）が出席した。

安富ゼミOB会の結成が話題になりかけたところ、先生が四月には英国に留学されるというので、あわただしい準備となった。会名を「喜友会」とし、先生の留学歓送会とした。

第一期生の吉川和雄氏（48学一経）の発声で乾杯、冬期ごとに自己紹介を進める。先生は夫人とお二人の子どもさんと一緒に出席され、お子さんのバイオリン演奏に場内は魅了された。

全員が〝寄せ書き〟し、ささやかな記念品として先生に贈った。

今回は住所がわかっているゼミOB二百十二人に案内状を出したが、準備が不足だったことはいなめない。来春は五月ごろ、先生の帰朝を待って盛大に開きたい。連絡は校友会事務局の畑まで。

われらが集い

校友会事務局では、かくれたるユニークな集いを調べています。校友会への登録の有無を問いません。次の要領でお願いします。

われらが集い・連絡事項

一、集いの名称

二、ネライ・スローガン

三、連絡先（電話番号も）

四、世話人（卒業年次も）

五、常掌校友数

六、会合は年何回、次回は

七、その他

◇東洋紙業関大会◇

東洋紙業に関大会ができて十七年。上田善啓・会長（39学一新）は校友会代議員で、野球部のOB。会員は五十人。会費は月額二、五〇〇円。年一度の旅行、会員の慶弔、新入歓迎会など親睦中心の行事を行っている。（写真は二月下旬冬の京都を訪れた一行）

印刷業界の社員に求められるのは、バイタリティーと仕事に対するひたむきな情熱。関大会のメンバーは、この要求を一〇〇％以上果たしている。

東洋紙業関大会

◇鹿島建設あしのは会◇

二、会員相互の交誼を厚くし、鹿島建設㈱および母校の隆盛を。

三、大阪市南区鰻谷西之町六―二三―一番（代表）　内線二三の阪上詰一。

四、最高顧問　村上精三（5専経）▽会長　上田保雄（20専一経）▽副会長　奥村利男（27学一法）▽幹事長　阪上詰一（36学一商）

五、五十六年二月現在五十人。今年度は男子一、女子二の計三校友が入社の予定。

六、年一～二回。五月にボートピア81を記念して神戸で。

芳原教授ら第一陣出発

学術・調査の在外研究員

昭和五十六年度の本学在外研究員は期間一年の学術研究に六人、期間三～六月の調査研究に四人の計十人。目的国は米、英、仏、伊、独、東独。

第一陣の芳原政弘・文学部教授は三月一日に、浅田正雄・社会学部助教授は十五日、それぞれ伊丹空港を飛び立った。

在外研究員は次の通り。

◇学術研究員

法学部助教授（民法）・永田真三郎（㊐）・西独▽文学部教授（哲学）・鰺坂真（㊐）・東独▽経済学部教授（日本産業論）・安富博彦（㊐）・英▽商学部助教授（経営分析論）・岡部孝好・米▽社会学部助教授（経済政策）・浅田正雄（㊐）・米▽工学部助教授（物理学）・大東延久（㊐）・仏。

◇調査（六か月）研究員

法学部助教授（商法）・栗田和彦（㊐）・伊▽工学部教授（構造工学）・三上市蔵（㊐）・米。

◇調査（三か月）研究員

文学部教授（独乙文学史）・芳原政弘（㊐）・西独・東独▽工学部教授（管理工学通論）・中村正躬（㊐）・西独。

高木、植野教授も出席

五七会総会開く

去る二月十七日、うえほんまちハイハイタウン三階の天山閣において、第七回目の総会を開いた。出席会員二十五名、恩師高木秀玄教授、植野郁太教授のご出席を得（病気のため松原教授、鋳方名誉教授は欠席）、本部から樫本会長、藤本事務局次長を迎え、渡辺副幹事長の司会で、各々あいさつのあと、役員の改選をはかったところ再選決定となり、会長に畑下、副会長に石田、堀、幹事長に宇野、副幹事長に渡辺の各氏および幹事八名を留任させた。

円卓テーブルに現在関係している業務の話や、近況のわかっている友人、先生の話題など尽きぬ論議の花が咲き、酒も入って和やかな懇親会に移り、一年に一回の懐旧の友情を暖め、関西大学の発展を祈りながら早春の夜を楽しみ、午後九時雰を閉じ、再会を約して別れた。（宇野記）

大学の窓

卒業記念に通信縮刷版

大学広報課では初の試みとして、今春の卒業生が在学した四年間に発行された「関西大学通信」を縮刷版にまとめて、卒業記念として贈る。

そのときときのキャンパス情報は、とりもなおさず、在学中の思い出そのもの。卒業後も繰り返し読み返して値するだろう。末ながく保存されんことを願うという。

本学へ中国からの学術研究団が

日本中国文化交流会の招きにより訪日中の王仲殊社会科学院考古学研究所副所長を団長とする一行九人の研究者が、二月二十四日、本学を訪問、考古学資料室では甲骨文字資料を、図書館では象牙の「唐宋伝奇集」を見学した。

特色ある私学目指して新規事業立案を審議

定例評議員会

法人関西大学の定例評議員会は三月三十日に開かれる。昨秋、新しく選出された評議員による、初の予算評議員会である。

特色ある私学を目指して、教育職員の増員と、学則定員の維持という、あえて〝二律背反〟ともみられる至難の道を模索する本学だけに、既定事業のきびしい見直し、さらに百周年にむけての合目的性、効率性ある新規事業の立案等が審議されるものとみられる。

昨今の教学充実は上掲の通り。

年度	専任教員数(人)	教員1人当たりの学生数(人)
50	474	52.3
51	480	51.2
52	493	49.3
53	497	47.9
54	504	44.1
55	511	41.6
56	?	?

脂肪太りが気になる方
特に肥満体質の方に最適
冷やして飲んでも最高です。
●赤ちゃんからお年寄までおいしくお飲みいただけます。
●中華、和・洋食等どんな料理にも合った、美容健康茶です。
新陳代謝を促す
美容健康茶
ティーバッグ新発売!!
中国直輸入
中國皇茶　楊貴妃
●お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・スーパーで……。品切れの節は、弊社までお申込みください。
●試供品をお送りします。ハガキで弊社まで……。
お申込みは一輸入総発売元　株式会社タムラ　試供品請求券
大阪市北区芝田2-6-18 商工中金ビル ☎(06)373-2101㈹

内外国
特許・商標・出願全般
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
（四ツ橋交差点西角地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
大花興産ビル2F・3F
電話　大阪〇六（五三一）七四三一～七四三五

あらゆる不動産の売買は……
近畿圏の物件BANK！　大阪・京都・兵庫・奈良の物件取扱
■売土地　■新築一戸建　■中古売家　■企業団地
■公団公社分譲住宅　■民間中古分譲マンション　■売店舗
より確実に！より迅速に！
漢字コンピューターによる画期的な仲介システム
コンピューターの最先端を行く漢字プリントコンピューターを業界で初めて導入し、住いの情報サービスをおこなっています。校友各位で不動産を売りたい時、買いたい時には是非お気軽に御相談下さい。確実、迅速に売買のお手伝いをいたします。尚お電話又は御来社の節は「関西大学校友」である旨一言先にお知らせ下さい。同窓社員が特に気を付けて御相談に応じます。
大阪府知事免許（4）8124号
有限会社福吉
代表取締役　阿藤　英士
〒531 大阪市大淀区国分寺2丁目1番14号　ニューキムラヤビル7階
06(353)5110(代)
地下鉄・阪急「天六駅」天六交差点東側角
お車の方は東100mの東洋モータープールへ
（日・祝日も営業　9時～19時まで）

カメラ　写真材料なら……
カメラのデパート　ナニワ
ドーシマ地下センター　ナニワ
本社　大丸そごう間東入る　TEL 244―1221(大代)
北営業所　地下鉄西梅田南200米　TEL 344―5921(代)
毎日会館営業所　大阪市北区堂島毎日会館　TEL345―9605・345―3865(代)
各営業所　京都・高松・福岡・広島・金沢

特許　排水管専用・各種清掃用品
クリンナップボーイ®
つまった時にはこれが一番！
スムーズな流れで
快適なライフワークを…
家庭用から業務用まで
No.205 パイプハンドル式　一般家庭用品
パイプクリーナー（5m清掃用品）
東京都　優良商品選定品　東京日用品工業会
アイデアを製品化し、文化生活に貢献する企業
太陽プレス工業株式会社（清掃用品事業部）
（本社）大阪市東成区深江南1丁目5番8号TEL(06)975-0131㈹

35年目迎えた教育後援会

本学に教育後援会が生まれたのは昭和二十二年の六月。その年の九月に校友会は、戦後初の再建総会を開いている。ともに今年は三十五年目。校友会長の樫本信雄氏は〝学科教育後援会〟の初代会長であり、新制になり統一された現教育後援会二代目会長でもあった。教育後援会の現会長の徳山喜昭氏は二十一代目、校友出身としては五人目であり、校友会常議員でもある。母校百周年を前にして、ともに大学の外郭団体としての使命と協調を確認し合う対談を行った。場所は教育後援会の別館。森本靖一郎・後援会幹事長と、神屋敷民蔵・校友会事務局長も出席した。座談会の途中、顔をみせられた横田健一・文学部教授のお話しは感深かった。四十四年の学園紛争のとき、学園正常化に向けて、当時の九代目後援会長・斉上義一氏（故人）と樫本校友会長の握手は力強く関大に反映したと……。徳山、樫本両会長の握手は、さらに、さらに熱っぽかった――。

校友会と〝熱い絆〟

親と子で〝開かれた大学〟を

二代目樫本会長と徳山現会長が対談

樫本信雄・校友会長（3大法） 徳山さんは二十一代目の教育後援会長だが、校友出身者としては五代目の会長。大西昭男学長も校友五代目の学長。学校と父兄がピタッと息のあった活躍も、うべなるかなと思いますよ。

神屋敷民蔵・校友会事務局長（4専国） 地方教育後援会で、先生方の学術講演を実施されたのも徳山会長になられてから……。

徳山喜昭・教育後援会長（29学一商） 樫本先輩らが当初つくられた路線を、森本幹事長の綿密周到な準備に支えられ歩んでいるだけです。〝特別講演〟は、親たちも勉強しよう、といった生涯教育の一環として……。

樫本 森本幹事長はなかなかよくやるわな。後援会の今日の隆盛は、歴代役員のご努力だが、幹事長の手腕に負うところが大きい。

森本靖一郎・幹事長（32学二法） 昨年の夏、樫本会長、神屋敷局長に高松の地方教育懇談会に出席していただいた。あのときほど校友会と後援会が同じ〝絆〟で熱い血が流れ合ったことはない。

横田教授をまじえ、樫本・徳山会長の対談

樫本 学術講演は立派な企画。大学の使命というのは、学内で研究、教育するにとどまらず、広く社会の人びとにも学風を浸透させることこそ、これから伸びていく道だと思う。

森本 これまでは一般の父兄には、校友会は卒業生の組織だが、ともすれば遊離した団体、という気持ちがあったが、いっぺんに払拭された！

樫本 学術講演は立派な企画。大学の使命というのは、学内で研究、教育するにとどまらず、広く社会の人びとにも学風を浸透させることこそ、これから伸びていく道だと思う。

森本 大学は、このあり難い父兄のエネルギーを吸収しなければなりませんよ。（一同うなずく）

徳山 父兄も、うちの子どもも卒業すれば校友だ、という実感を新たにされたようだった。

森本 「大西学長も校友、私も四国、香川の出身、徳山会長は自分のまな弟子だ」と褒め讃えられた光景！

樫本 会長がユーモアを交じえ、「関西大学・地方一日大学」などは！

徳山 〝人事の稲野〟とも。仕事への評価は早い。君の記事は六〇点、この企画は七〇点。すぐに採点される。不可（五〇点）をつけて、部下を腐らすことはないが、また決して〝優〟はつけられないらしい。着任の日、学生時代の同期、田中一郎企画室長の案内で生協食堂へ。「ボリウムはあるね」と。

二男二女、四人のお孫さん。節子夫人はじめ家族は全員、ただいま東京住まい。先ずは単身での着任。大正七年一月生まれ。16大政。

樫本・徳山 それは結構だ（同者、同時に発言）。早急に面事務局で、日程、場所、方法など練ってほしいものだ。（同会長は固く熱い握手で、懇談を締め括った）

横田 関大の紛争が〝百日〟で終わったのも、その後、今のように学生間に親和が保たれているのも、その隠忍自重のおかげだ。

樫本 教育後援会、校友会がともに手を携り〝嵐の中〟を、くぐり抜けてきた意義は大きい。五年後の関大創立百周年もそうありたい。それには、関西大学のあり方を、世間に問うような斬新な事業計画を立てなければなるまい。

徳山 〝開かれた大学〟を地道に求める中に、豊かな実が生まれくるのではのうまんせか。

森本 校友会も、教育後援会も、学生も、大学も一体となって、地域社会と接触を深めていく〝関西大学・地方一日大学〟など！

44年紛争で対話の資料

徳山 学生をなんとか四年間で無事卒業させることだけを念じ、応援団、体育会の学生に徹底的な隠忍自重を説いた。先輩の激励？で暴走しかける者には、俺を殺してから行けと止めた。（当時を想い起こされてか涙ぐむ）

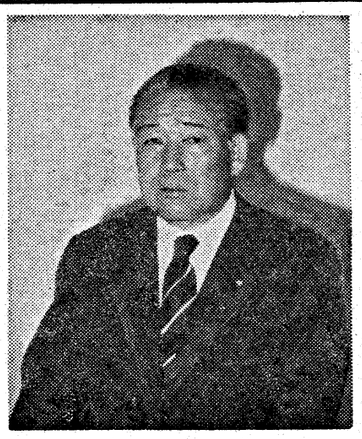
横田 関大の紛争が〝百日〟で終わったのも、その後、今のように学生間に親和が保たれているのも、その隠忍自重のおかげだ。

樫本 教育後援会、校友会がともに手を携り〝嵐の中〟を、くぐり抜けてきた意義は大きい。五年後の関大創立百周年もそうありたい。それには、関西大学のあり方を、世間に問うような斬新な事業計画を立てなければなるまい。

徳山 〝開かれた大学〟を地道に求める中に、豊かな実が生まれくるのではのうまんせか。

森本 校友会も、教育後援会も、学生も、大学も一体となって、地域社会と接触を深めていく〝関西大学・地方一日大学〟など！

樫本・徳山 それは結構だ（同者、同時に発言）。早急に面事務局で、日程、場所、方法など練ってほしいものだ。（同会長は固く熱い握手で、懇談を締め括った）



関西大学常務理事に稲野治兵衛氏

三月六日の理事会で稲野治兵衛氏が、新しい常務理事に。二月まで㈱毎日の社長だった。毎日新聞社内で〝稲野さん〟と言う人はまれ、親しみを込めて〝ジベーさん〟だった。造酒屋で屋号を世襲したためと、ご本人は、はにかまれる。箕面市に合併された、旧三島郡豊川村の出身。小学校の先輩に、ノーベル文学賞の川端康成。

関西大学と蜷川先生

高木　秀玄

毎年、私ども蜷川門下生は、先生の誕生日である三月二十四日に全国より集まるのを常としていた。今年もそのような集りをもつた際に、先生のお加減が甚だ悪いということが報告され、一同、何か胸さわぎしたものである。その悪い予感が適中し、二月二十七日午前十時に安らかに、しかも閑男の人々に「有り難う」と二言残して八十四歳の生涯を閉じられた。生前のお希望により葬儀もなく、告別式もなく、三月一日正午、私どもと弟子達がお棺を霊柩車にお運びすることだけにした。

統計学の講座を

蜷川先生は関大にとって非常に関係が深く、昭和十年四月から十八年十一月まで非常勤講師として統計学の講座を担当され、その間に統計学という学問だけにとどまらず、学問するものはいかにあるべきかを熱っぽく、時には善言温しりで熱弁をふるって若い学生たちをふるい起こされた。おそらく当時の本当の卒業生で今も昨日のごとく想い出されることであろう。その頃、京大では「雨がふったら蜷川助教授休講」という言い伝えがあった。ところがあの出不精の先生が関大の講義だけは雨の日も休まれないどころか、熱心に通って来られた。それはなぜなのか。

昭和五年五月に留学先のフランス・ドイツからアメリカ経由で帰国の旅についていた先生の心の中に大きな空しさがあった。留学中、その人が教壇に立っておれたが故に京大へやって来られた河上肇先生が大学を追放されてしまった京大は、先生にとり空しさだけの残るところだった。文部省および京大当局の大さわぎを無視して、しばらく房総半島の海辺でブラブラされていた。しばしば訪った京大は先生にとって決して居心地のよい場所ではなかった。一方ではつくりヨーロッパで買い込んで帰国された貴重な文献（たとえばケトレーの自署入りの「社会物理学」を読み、噴き出るような学問への熱情とが関大での各講義となったのである。

関大の学生は熱心

昭和八年、いわゆる滝川事件では法学部のスタッフの連袂辞職に発展し、これに対して経済学部の教授は沈黙を守ったままだった。助教授の代表者である蜷川先生と、やはり非常勤講師として千里山へ通っておられた末川博先生との連絡場所が千里山の旧学部校舎の裏の竹やぶであったのである。これは別の機会に末川先生からも承ったことである。これは私自身、はじめて発表することである。なお、もう一つ面白い話があることであった。かくして、私の生涯の師が決められたわけである。あーに学生達が熱心なのと、教授控室で岩崎さんをからかうと面白かったよ。何かいうと必死になって反論してくるからね」というお返事が、今も私の耳から離れない。

蜷川先生はもともと旧東京府立四三中（現両国高校）の二期卒業で、三年先輩に芥川龍之介がおり、同期に八洲事件の弁護士正木ひろしがいた。あの先生の反骨、反権力の精神も、その基礎は東京の下町っ児的なものだったのである。昭和十六年三月に卒業した私に関大当局の呼び出しがあり、「大学院は京大へ行って蜷川先生の研究室で統計学を研究して来い」というけて銭湯にいくようなつもりで大学をやめるよ」。これがあの時のことであった。かくして、私の先生の私へのお言葉であった。ところが、二十三年八月、時の社会党の水谷長三郎（商大臣）より新聞社の中小企業庁長官就任をしつこく頼まれ、これを引き受けられたのであるが、社会党に代わる吉田ワンマン内閣と大喧嘩（三月危機）をめぐりをし、一部の新聞報道のように首を切られたのではなく、先生よりその職を放り出して、京都の下鴨で静かに研究生活に戻るべく引き上げられたのである。京都駅前は旗の波の出迎えとなった。日曜のオバサン達まで駆けつけた。かくして第一回知事選挙に立候補（強制的な）となった。

知事選挙に立候補

その頃、国立大学の教壇に立つ弟子達は法律により表立った選挙運動は許されず、私と法政大学につとめる上杉正一郎（例の天皇機関説の美濃部達吉先生の論敵であった東大上杉慎吉先生の長男）の二人が鉢持ちをし府下を先生と走り回ったのである。今でも忘れることのできないのは、福知山の先生のファンである旧家の座敷で蜷川先生と水谷長三郎との間の床に二人の雷鳴に近いイビキで朝まで無理に寝かされたのであるが、おいっぱいに先生に似ているからとて真っ赤な候補者のつけるバラの花を胸につけられ、大山郁夫と二人で夜の伏見の演説会場へ行き、本物の蜷川先生の到来まで舞台隅っこで待機させられたことなど、私の生涯の今日まで、いつのどの想い出をとりだしても先生がチラチラ現れることはかりである。圧倒的な強さで当選されても、東京での全国知事会に出席をされず、やっと出席すると、当時の自治大臣が一席の訓辞をふったのに対して、終って廊下へ出るなり、「あんな阿呆なことをいって、あれが学問した間のいうことか！」と怒鳴った。その自治大臣というのも実は蜷川ゼミの一員のYさんであった。

一日のご出棺の後で、私ども弟子たちはいったものである。きっと先生は地獄へ行って閻魔大王に怒鳴っているよ。「それが他人を裁くものいうことか！」と。

校友の皆さんにお知らせしたいことがある。実は選挙費用の一部分のため先生の蔵書の一部を処分され、それが千里山の図書館に蔵せられていること、本年七月には先生も創立者の一人である「日本統計学会創立五十周年記念総会」がわが関大で催されることを。昭和十年から十八年まで、先生の講義に出席された人びとにお願いします。どうぞ先生のご冥福を祈って下さい。

（経済学部教授・関西大学経済・政治研究所長・16大経）

関大人事

専任教育職員の異任、任用

4月1～2日付

◇**法学部** ▽教授　月岡利男（助教授から）▽助教授　市川訓敏、千藤洋三（いずれも専任講師から）▽専任講師　栗田　隆（助手）、園田　寿（新任）▽助手　孝忠延夫（新任）

◇**文学部** ▽教授　浦西和彦、伴義孝（助教授）、山下　肇（東京大学）▽助教授　小川静代、奥村　透、松浦　章、鷲田清一（専任講師）

◇**経済学部** ▽助教授　丹羽　明（専任講師）、一圓光彌（国立公衆衛生院衛生行政学部主任研究官）▽専任講師　杉原　達（助手）、石田　浩（京都府立高等農業講習所非常勤講師）

◇**商学部** ▽助教授　鍛治邦雄（専任講師）▽助手　羽原敬二（任講師）

◇**社会学部** ▽教授　井上　宏、掛川トミ子、高木　修、徳岡秀雄、橋本敬造（助教授）▽助教授　岩見和彦、木村洋二（助教授）▽専任講師　藤沢　等（非常勤講師）

◇**工学部** ▽教授　岡田　明（助教授）、村上陽太郎（京都大学）▽助教授　小幡　斉、大内辰郎（専任講師）、八尾真太郎（滋賀県立短期大学助教授）▽専任講師　内山寛信、門側幸宏、西山富博（助手）▽助手　西岡孝男（副手）

退職　3月31日付

◇**教員**　行田忠雄教授（社）▽杉原瑞穂教授（工）▽田島　治教授（工）▽長谷川雅樹教論（工高・一中）▽黒岩　博教論（一高・一中）以上は定年。▽中道　実・助教授（社・奈良女子大）▽中野真作教論（一高・一中）▽羽衣短大（社）▽陰山晃雄教論（一高・一中）▽金藤富江教論（分）

◇**職員**　内田麥子主事▽大浜永子技師▽倉本利子技能員▽矢野武俊技能員▽平沢栄市現業員▽浅野ミチエ現業員（以上定年）。

関西大学常務理事に稲野治兵衛氏

私の人生はこれから

御堂河内　四市（5大法）

小生・福井県教委の生涯教育リーダーバンクに登録され、同成人大学講座を受講修了、大野市教委の健康大学講座を修了、さきには財団法人教育研究所の文部省認定社会通信教育「校正」講座を修了、小生の人生はいよいよこれから。若返って大いにガン張る決心です（〒912福井県大野市塚原）。

〝堺町人の道〟へ転進

沢田　悦爾（23大法）

堺市教育委員会を振り出しに、堺市立第二商業学校、同第二工業高校と定時制教育にあき時代をすごし、その間、府立鳳、泉陽等多くの高校若人と共に学び、後半約十年は帝塚山学院短大講師として、放送教育、視聴覚教育、語学ラボラトリー教育に情熱をそそがせていただいたが、三月末日で退職することを決めました。

八十年代の第一歩、心を新たに四月十六日、亡父の命日を期して「大阪ビル管理サービス株式会社」を設立し、代々続いた〝堺町人の道〟を踏み出したいと存じます。（〒591堺市金岡町一九〇五ノ一八）

旅を楽しむ昨今

木藤　安之（10専2経）

去年の春、韓国の各地に古寺旧跡を探れ、わが国の歴史に深い係わりがあることを改めて学びました。ソウルでは裏町の民衆酒場でいろんな人と語らい、その時の掌の温もりが未だに消えません。

帰ってから間もなく勃発した光州の騒乱をテレビで見ながら、親切にしてくれた高校生、銀行の女の子、タクシーの運転手などの顔が目に浮かび、どうしているかと気懸りでなりませんでした。

六月には神々の古里、日向高千穂から南九州を巡り、その途次、何十年ぶりかの学友や戦友を訪ねて旧交を温めました。陽光輝く日南海岸の雄大な景観、哀愁漂う「五木の子守唄」の山里へ、つづく七月には有明の海を渡って霊仙へ――と、元気で旅を楽しんでいる昨今です。（〒562箕面市桜一丁目九―一〇）

岩崎学長碑除幕の思い出

熊谷　徳子

岩崎ヌイ先生、よいお年を迎えられたことと思います。私にとって奥さまは先生です。

父（注・岡本顕潤・12大法・㈱岡本社長）とともに上がった、岩崎卯一・故学長先生の京都の顕彰碑除幕式が、きのうのように思えます。高校生だった私が、奥さまのお声がかりで、晴れがましくも、幕をひかせていただきました。

月日のたつのは早いもの。私も中学一年（友寿）、小学四年（八千代）の二人の母になりました。ヌイ先生。いつまでもお健やかに。かしこ。（岡本氏次女）

家庭づくりへスタート

杉本　啓次（53学一法）

はや三年の歳月が流れました。社会人として、やっと一人前と認められるまでになり、昨年十一月十六日に結婚しました。

独身時代ののんきな気持ではいられないと、決意を新たに新生活のスタートを切りました。営業マンである以上〝台数〟との戦いです。今まで以上に頑張らねば！と思っています。吹田には先輩であるお客さんが多くおられ、公私ともにお世話になっています。

人生の新しいスタートを切った今、幸せな家庭づくりと、立派な成績をあげようと思っています。（〒664伊丹市南本町六丁目一番七の三〇二号　大阪タイハツ吹田営業所）

同じ空の下での連帯感

仲田　茂美（53学一史）

ドアを開けると懐かしい〝おい〟が私を取り巻く――。五十四年五月の連休に、寮に当時の四人が集まったときのことだ。おのおのが、元の椅子に座り談笑する。他の部屋にもOBがたくさんきて集まり、時間が逆戻りしたと観があった。

卒業して三年。仕事にも慣れ、仕事の上でも自分というものが少しは出来るようになってきた。同期の者たちは、今それぞれの道のどのへんを歩んでいるのだろうか。同じ空の下で、共に歩んでいるという、ひそかな連帯感に励まされつつ八十一年も元気でやっていきたい（〒619―14京都府相楽郡南山城村田山ヒヤデ二六　京都府立木津高校）。

ポーピア'81で寮歌祭

関大旧制予科もエントリー

三月十九日に開会式を開く〝ポートピア'81〟において、在神の寮歌祭有志が「神戸ポートピア寮歌青春コンサート」を発案し、旧制高校、旧制大学予科、旧制高専、陸士、海兵各校のほか、関東、関西の大学、女子大学等にひろくよびかけている。

八月二日の日曜日の正午から、神戸市中央区港島中町六丁目九の国際交流会館　メインホールで開催の予定。旧制高校を中心に海兵、陸士等四十組近く申し込みがある。東京の大学では早稲田、慶応が、関西では同志社、立命館、関西学院が手続きをしている。関大では旧制大学予科・第一期生の山崎敬義・神戸関大倶楽部理事長がエントリーした。

メイルボックス

最高検の刑事部長に小嶌氏

神戸地検検事正の小嶌信勝氏（17専二法）は、このほど最高検刑事部長に転出された。

森・金剛峯寺座主 晋山式は4月15日

高野山真言宗・総本山金剛峯寺の第四百六世座主　森　寛紹大僧正（大12大学・大15大法）の晋山式ならびに管長就任式は、四月十五日午前十時から金剛峯寺で。樫本信雄校友会長が参列する。

片岡千成会長古稀のお祝い4月7日

千成会・片岡恒次郎会長（13大法）の古稀（七十歳）のお祝いが四月七日（火）午後六時から、大阪市大淀区のホテルプラザ・醍醐の間で開かれる。会費は三万円（記念品代を含む）。

「仰々しいことは勘弁してほしい」との片岡さんの辞意を押して「さらに長寿を重ねて後進を指導していただきたい」というのが世話人一同のあいさつ。

第一部が祝賀会、第二部が鶴田浩二ディナーショー。

住所判明 一〇七、八九三人 55年版名簿にみる校友

四年ごとに刊行の校友名簿55年版ができた。重複卒業の一万八三八一人と物故確認の八九五三人を除いた、いわゆる現存校友数は一四万七一六八人。うち五十五年十一月現在で、住所が判明した校友は七三・三%の一〇万七八九三人だった。

内訳は、地元大阪の四万九八五三人（四六・二一%）が中心で、近畿六府県の総計は八〇%（八万六三七〇人）に及んでいる。

一方、教育後援会では昨年五月一日現在で、現役学生の親元をまとめている。大阪の八四七三人（四一・一一%）を筆頭に、近畿圏で七六%を示している。

〝全国大学〟だけに、校友、学生父母ともに北海道から沖縄までの全国にわたっている。

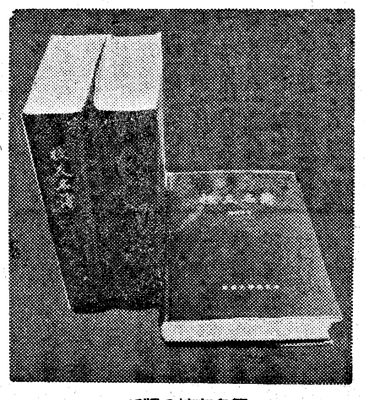
校友は大阪市内では東住吉（一四五〇人）、阿倍野（一三一六）東淀川（一二九五）の各区、衛星都市では堺（三九七七）、吹田（三七九八）、豊中（二八〇七）とつづく。大阪を除く近畿の都市では、やはり神戸市（七一三二人）で、次の尼崎市が三四〇四人。西宮市が京都市（一三一五）を抜く二九二五人だった。近畿以外の都・道・府・県別では、勤務の関係であろう、東京都（二一〇五人）がトップ。続いて愛知県（一九〇一）、岡山県（一八一一）。

少ないところは山梨県の一五人、山形の二一人、秋田、青森の各二三人。ちなみに北海道は一八二人、沖縄も五五人を数える。

請外国は一三八人。韓国七一、台湾一九、アメリカ二四、ベトナム五、カナダ四、イギリス、オーストラリア、タイの三国に各一人、西ドイツ、フランス、オーストリア、南アフリカ、ブラジル、カンボジア、ホンコン、中国に各一人。国際化時代、校友の〇・一%という海外雄飛はさびしいかぎりであるが、韓国七一人中七〇人が韓国同窓であり、台湾居住一九人のうち一七が台湾出身者とわかっては、表現のしようもない。ベトナムの五人も、アメリカのかなりの人も、かつての東南アジアからの留学生校友であろう。異国で活躍する校友は、おそらく二五人前後であろう。

今月号には近畿以外の校友の一覧表を掲載。他の地方も号を追ってのせていく。

校友名簿は（B5・判・6ポ・一三五〇ページ）は予約刊行を原則としたが、わずかに残部がある。予約をされず、ご希望の校友は、お早目に校友会事務局・電〇六―388―一二一二番（代表）までお申し込みください。一般価一〇、〇〇〇円（〒共）。



新版の校友名簿

これが関大人の現状だ！

府県別	判明校友数（%）	学生父兄数（%）
大阪府	49,853 (46.21)	8,473 (41.11)
（うち大阪市内）	(18,198) <16.87>	(2,991) <14.51>
兵庫県	23,349 (21.64)	4,231 (20.53)
近畿（除く大阪・兵庫）	13,168 (12.20)	2,979 (14.45)
中部地方	6,122 (5.67)	1,735 (8.42)
関東地方	4,699 (4.36)	140 (0.68)
東北、北海道	370 (0.34)	104 (0.50)
中国地方	4,851 (4.50)	1,514 (7.35)
四国地方	2,851 (2.64)	772 (3.75)
九州地方、沖縄	2,492 (2.31)	652 (3.16)
外国	138 (0.13)	11 (0.05)
計	107,893 (100)	20,611 (100)

◇大阪市内　26区

旭	827	西	564
阿倍野	1,316	西成	843
生野	1,053	西淀川	618
大淀	435	東	379
北	673	東住吉	1,450
此花	290	東成	626
城東	804	東淀川	1,295
住之江	517	東平野	596
住吉	1,269	福島	672
大正	317	港	348
鶴見	314	南	556
天王寺	655	都島	527
浪速	353	淀川	901

◇大阪府下　30市（除く大阪市と5郡部）

池田	898	泉南	227
和泉	469	大東	407
泉大津	361	高石	355
泉佐野	382	高槻	1,871
茨木	1,372	豊中	2,807
貝塚	297	富田林	600
柏原	367	寝屋川	923
交野	291	羽曳野	630
門真	320	東大阪	2,559
河内長野	471	枚方	1,564
岸和田	865	藤井寺	419
堺	3,977	松原	569
四条畷	179	箕面	881
吹田	3,798	守口	761
摂津	314	八尾	1,412

◇兵庫県下　21市（除く20郡部）

神戸	7,132	三田	240
相生	82	洲本	85
明石	1,028	高砂	261
赤穂	96	宝塚	1,223
芦屋	643	竜野	102
尼崎	3,404	豊岡	67
伊丹	1,172	西宮	2,925
小野	86	西脇	61
加古川	646	姫路	1,206
加西	130	三木	234
川西	916		

◇近畿地方（除く大阪・兵庫）

京都府	3,848	和歌山県	2,191
奈良県	5,763	滋賀県	1,366

商標登録　和洋御菓子司　株式会社 昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3丁目13―28（難波府立体育会館南通り公園前）
電話 631―6565 / 641―1666(代) / 641―6565
特別割引券 関大 ⑤
山本雅巳（昭和53年大法卒）

運転免許は校友がお世話する大阪鶴見の、公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2―13
〒538 TEL(06)912―7171
担当 太田清太郎(昭29.学2法)
優待証 関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
大阪店　阪急三番街/ウメダ地下センター/阪急32番街/難波戎橋筋/ミナミ地下センター/南OSプラザ/地下鉄住之江公園/阪急川西能勢口駅前/府道茨木警察署北/タカツキ松坂屋
東京店　有楽町/日比谷/渋谷/蒲田/池袋/新宿
川崎店　岡田屋モアーズ
千葉店　千葉セントラルプラザ/イトーヨーカドー津田沼店
札幌店　丸井今井本店
仙台店　仙台ジャスコシティー
浜松店　松菱
博多店　西鉄天神コア

制禦盤配電盤製作・計装工事
共栄電器工業株式会社
取締役社長　柳楽喜祐
本社　〒660 尼崎市杭瀬北新町1丁目3番地　電話 大阪(481)8807～0番(代表)・(489)3041番
東京営業所　〒176 東京都練馬区早宮2丁目26番25号　電話 東京(932)6266～7番

関西大学経済・政治研究所《公開講座》
今年は市民にも開放

春風とともに本学の〝開かれた大学〟への開花は間近いようだ。経済・政治研究所では、昨年から始めた「公開講座」を二段と充実し、これまでの壁を破って、一般市民への解放までを模索している。〝まほろばは大学〟で全国的に有名な飛鳥史学文学講座も七年目に。地元・奈良県に民選初の校友知事も生まれたことから十三講におよぶ斬新な企画が発表され、受講希望市民が殺到している。五月から始まる地元・吹田市民大学講座も十年目。定着と充実が括目される。正義を愛する〝実学〟の学風が市民に深く浸透しようとしているのだ。

第七回目を迎えた 飛鳥史学文学講座
意外に多い医師、看護婦さん

関西大学が奈良県の明日香村中央公民館で開催する飛鳥史学文学講座も第七回目を迎える。第一回目は年間十講だったが、次第にふえて昭和五六年度は十三講に。毎月一回、第一か第二日曜日の午後一時から三時までだが、八月だけは二講座のため正午から。

第六回（八五年五）の全受講者は二千四人、十二講中、一回だけ欠席は四十七人で、毎回平均三百五十人。会場は満席だった。受講の高齢者は勝山正義氏(六三)＝奈良県宇陀郡室生村▽福島利顕氏(六一)＝天理市柳本町で、守口市の頓戸勇氏、高槻市の森キクノさん、大阪市阿倍野の矢野まさ枝さんの三人が八十歳だった。最少年齢者は奈良吉野町の中学生、小橋康之君(一三)。第一回第一講から第六回第十二講までの六十五回を〝皆勤〟されたのは京都市の吉野良造氏(六三)。一回だけの欠席が地元・見瀬町の稲田久美子さん(四七)。

これまでに講演された先生は故人の高橋三知雄・法学部教授を含め、文、法、工の十八人。横田健一、有坂隆道、網干善教、大庭脩、神堀忍の五文学部教授と、奥村郁三・法学部教授の六人が〝皆勤〟。第七回も担当される。中農晶三・社会学部、小川悟・文学部（独文）の両教授は今回が初登場。

受講者はもちろん近畿が中心だが、愛知の十四人、三重県の六人、東京都の四人。北海道、北陸、山陰■九州からも。主婦、会社員（OLも）教員、学生。意外と多いのは医師と看護婦さん。

受講希望者は申し込み用紙に受講料として三、〇〇〇円（年額・テキスト代を含む）を添えて、〒564吹田市山手町　関西大学教育後援会内　飛鳥史学文学講座係まで。電〇六―388―一一二（代表）の内線四六四一番。

横田　健一教授　奥村　郁三教授　有坂　隆道教授　神堀　忍教授　上井　久義教授　中農　晶三教授
薗田　香融教授　青木　晃教授　大庭　脩教授　山田　幸一教授　亀井　清教授　小川　悟教授　網干　善教教授

◇第一講　56年4月5日
天平の後宮―聖武天皇をめぐる女性たち―
横田　健一・文学部教授
聖武天皇時代は、いわゆる天平文化が絢爛たる花を咲かせた時代であった。
その時代の後宮の女性たちが、聖武天皇とどのように交わったか。天皇の母、宮子夫人、光明皇后、その母、橘三千代などを始めとする女性像を「万葉集」などにより描き出したい。

◇第二講　5月10日
シルク・ロード開通の歴史―敦煌学と法律文書・スライド使用―
奥村　郁三・法学部教授
シルク・ロード開通の歴史の特徴を述べ、あわせて敦煌学と法律文書に触れる。
次にその特徴を軸に、約五百枚のスライドを使って説明する。その際には多く唐詩をかりることとした。

◇第三講　6月7日
神武即位　辛酉革命説を疑う―日本書記編纂のなぞを説く―
有坂　隆道・文学部教授
日本書紀は、安康・雄略以後は元嘉暦で編纂されているのに、それ以前は新しい書紀編纂当時の儀鳳暦で造作された。
明治以来、学会の定説ともなっている神武即位の辛酉革命説も、その可能性は考えられないことで、天武天皇が儀鳳暦で造作したものではなかろうか。

◇第四講　7月5日
飛鳥川をめぐって―万葉集を中心に―
神堀　忍・文学部教授
飛鳥川は、飛鳥の地を潤し、交通・潅漑に、また生活用水として古代人の生活を支え、心情をもくまなく潤してきた。
万葉歌をとおして飛鳥川に託された人びとの思いを探り、その歓び、悲しみの姿を考えてみたい。

◇第五講　8月2日
斎王と内侍―古代における宗教と政治の変質―
上井　久義・文学部教授
古代社会においては、個有の民族宗教と政治が、密接な関係をもっていた。その一つのあり方として、伊勢の斎宮がある。
ここには、天皇の娘が斎王となって司祭者の任についていた。その役割の原形と変化についてながめてみたい。

◇第六講　8月2日
折口信夫の「死者の書」―大津皇子と中将姫へのレクイエム―
中農　晶三・社会学部教授
このすぐれた小説は、一般に難解だといわれている。二上山の岩窟に埋められた大津皇子の幻影を恋い慕う、当麻寺の中将姫が曼荼羅を織る、美しい文体でつづられた鎮魂曲。作者自身この小説の解説として、「山越しの阿弥陀像の画因」を書いている。解説の解説を語ろう。

◇第七講　九月六日
大伴氏再考
薗田　香融・文学部教授
大伴氏は古来、武門として繁栄してきた有力氏族であり、多くの政治家、将軍、文人を輩出した。
今回は、若干の新出史料を手がかりに、大伴氏の起源、分布、氏族構成など考え直してみたい。

◇第八講　10月4日
南山の抒情と文学―後南朝にまつわる虚像と実像―
青木　晃・文学部教授
後醍醐帝が吉野山中に崩御され（一三三九年）て後、南朝勢力は全くふるわなくなった。しかし、南北朝合一ののちも吉野山中深く、神器を捧じてた籠入びとがいた。彼らは何を信じて…。

◇第九講　11月1日
江戸時代の日中秘話―亨保年間に象がなぜ来たか―
大庭　脩・文学部教授
亨保十三年六月十三日、二頭の象が長崎に来た。積んで来たのは、ベトナムから来た申十九番広南船である。
江戸時代の鎖国のまっさい中にどうして象が来たのか？象はそれからどうしたか。象に託して江戸時代の日中関係の秘話を語る。

◇第十講　12月13日
古代寺院建築の見方―飛鳥寺から唐招提寺まで―
山田　幸一・工学部教授
法隆寺西院伽藍は世界最古の木造建築遺跡構であるが、アジアのみならず遠くギリシャ建築の影響まで認められるという。
本講では飛鳥における仏寺の始まりから奈良の都における古典様式の完成までの変遷を、スライドを見ながら辿ることにしたい。

◇第十一講　57年1月10日
古鏡のなぞ―錆びた古鏡に語らせる―
亀井　清・工学部教授
高松塚出土の海獣葡萄鏡など永く土中に埋もれて、再びこの世に現われた鏡（加賀美・可我見・炫見・影見）は、すでに錆によってものを映さなくなっている。
これらの古鏡について解明されていない多くの謎があるが、錆びた鏡に光を当てて、これらの謎の解明にいどむ。

◇第十二講　2月14日
古代伝承の系譜
小川　悟・文学部教授
伝承説話の比較によって、洋の東西、とりわけヨーロッパと日本の文化史的比較を試みる。
ヨーロッパと日本における説話の比較を通して、文化的受容に関する仮説的な試みを行う。

◇第十三講　3月7日
近世紀行文にみえる飛鳥の遺跡
網干　善教・文学部教授
三条西公保の「吉野詣記」（天文二十二年）、貝原篤信の「和州巡覧記」（元禄五年）、本居宣長の「菅笠日記」（明和九年）、荒木田久老の「大和河内旅路の記」（天明二年）、上田秋成の「岩橋の記」（天明八年）、津川長道の「卯花日記」（文政十二年）などの史料から、飛鳥の遺跡を訪れた人が、何を見て、何を感じたかを考えてみたい。

人間性形成の骨ぐみ

経・政研　福祉班研究員
文学部教授　藤井　稔

人間疎外とか、人間性喪失とかいわれる現状は急速な文明の進歩による環境の変化―自然的環境から人工的環境への変化―のもたらした結果としてとらえることができる。

それでは人間を人間たらしめている特質―人間性―とはどういうものなのであろうか、また人間性というものは生得的なものなのであろうか、それとも環境とのかかわりを通して形成されるものなのであろうか。もし形成されるとしたらどのようにして形成されるのであろうか。

人間性については二つの見方がある。一つは理想としての人間性、もう一つは生物としての人間性である。

前者は心情的には考慮に入れるべきものであるにしても科学的研究の対象とはなしえない。人間性を科学的に研究するには人間を生物の一種として進化論的系統樹の上に位置づけるという立場を採ることになる。

人間性は人間文化から孤立した状況では発現しない―例えば野生児において―のであるから、それは人間的環境を通して形成されるものとみなすことができる。

それでは人間性はどのように形成されるのであろうか。ここではその形成の初期の段階に光を当ててみよう。

まず人間性の形成に関して重要なことの一つは親と子との関係（当事者と他者との社会的関係の基本）の成立である。

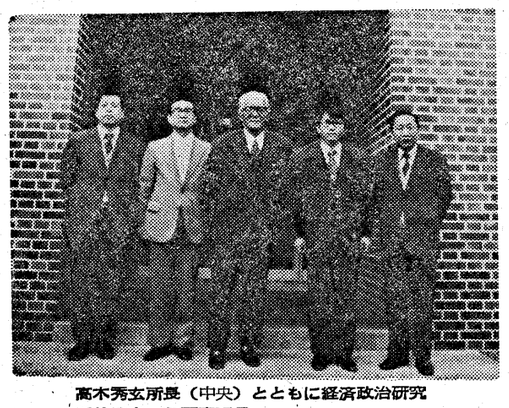
比較行動学的研究から、動物の中でもとくに哺食性動物（子どもが生後すぐに独り立ちできず、親から餌をもらう動物）では親の子に対する世話行動は親から子への一方的なものではなく、子の親への働きかけが親の世話行動を誘発するということが報告されている。

人間でも同様、新生児の持つ生得的行動系（原始反射、自然運動）は親の世話行動と噛み合うことによって子と親との相互の関係が成立する。この関係の成立を二者間のコミュニケーションの成立とみなすことができる。

このコミュニケーションを媒介するものとしては〝泣き〟と〝笑い〟とがある。前者は子どもの親への働きかけとして発現し、後者は親の子への働きかけとして発現する。これは二者間の一方が課題を設定し、他方が課題を解決することと、その逆という状況とみなすことができる。

このような相互的コミュニケーションを通して感情の調節が可能になり、それを基盤としてコミュニケーションの媒介となる信号系はより高次化し、やがては〝ことば〟を用いてのコミュニケーションが可能になる。媒介子としての信号系の高次化は人間関係の間接化（自他の区別の明確化）をもたらし、独立した自我が形成されていく。

人間性形成についての以上の考察は、人間性形成を妨げられている障害児の人間性の回復をもたらすのにも有効である。


高木秀玄所長（中央）とともに経済政治研究所前に立った研究班員

マス・メディアの地域的機能
メディアと住民参加―

経・政研　環境班研究員
社会学部助教授　井上　宏

「地域の時代」が叫ばれるにつれて、地域マス・メディアにも変化が見られる。これまで、新聞、放送が地域をとらえる観点は、おおむね中央の情報を地方に伝達するという考え方が支配的であった。地方の住民もまた中央の情報を求めるという傾向があった。

テレビについて言えば、地方局で制作する番組は微々たるもので、東京制作の番組が圧倒的に多く、地方局は〝たれ流し局〟と言われた時代もあった。NHKは放送法において「全国向け放送番組のほか、地方向けの放送を有するようにすること」とうたわれていても、全国向け放送番組の圧倒的優位が続き、民放も免許を受けるに当たって、「地域社会特有の要望を充足することを期待する」という基準を課せられていながら、「期待」にほとんどこたえたすわけで、局が「広場」の「主こなかった。

一九七〇年代に入って、ローカル局に転機が訪れる。(一)既設のVHF局に加えて、一九六七年にUHF局が誕生し、両者が競争し合うことになる。(二)新局誕生にともなうキー局のネットワーク体制強化が、ローカル局の自立への志向を刺激する。(三)新い競争が、地元スポンサーの開拓、〝木毛〟時間帯の開発を促す。(四)高度経済成長の矛盾が顕在化し、多くの地域が「過疎」「公害」「自然破壊」「地域開発」などの課題を背負い込む。(四)地元民の地域に対する情報ニーズが高まる、などの理由で、多くのローカル局が、地元に目を向け出し、地域情報、あるいは生活情報を主体にした「ワイド番組」を制作し始めた。

地域に密着した「ワイド番組」の中で注目すべきは、地元住民の番組への参加の動きである。番組がこれまでのように送り手から受け手に一方的に伝達されるのではなく、その番組自体が住民の声を反映し、さまざまな意見を交流させる「広場」の機能を果たすことになった。

昨年、鹿児島県を訪れ、私はNHK鹿児島放送局制作の「長時間討論・新大隅開発を調べた」が、賛成・反対派の双方が円卓についての討論が長時間にわたり展開された。こうした番組は、地域の世論形成のプロセスに大きな役割を果たす。

催者」として、もっと大担にテレビコミュニケーションを活用することが望まれる。

四国放送の「おはようとくしま」における電話利用、テレビ神奈川の「あなたが作るテレビ番組」の住民の制作参加、長野放送「ワイド信州」のスタジオ開放宣言、NHKが一九七八年に全国イン形式の視聴者参加番組など住民の〝メディア・アクセス〟を志向した番組の開発が進行しつつある。

これまでの「視聴者参加番組」の「娯楽性」と「見世物性」とは違った「実用性」と「参加性」を重んじた番組の開発はマス・メディアの地域的機能を促進するために欠かすことができないと思われる。

本 あの頃
―そして今は…
三冊の本で―理想、愛、人間

青春時代に読んだ本のうち一、河合栄治郎著作集から「学生に与ふ」。著者の序文にもあるように、好む項目を拾い読みせずに、巻頭から巻末まで通読してほしいとかかれているように、かなり熱心に読んだ。理想主義の哲学をここで学ぶ。

二、塩尻公明著の「天分と愛情の問題」は著者のいうように、自己に与えられた天分を如何にして自覚するか、かつ若き日の愛の心をどう把えてきたか、美しい魂の記録に、つよく心にうたれた。

三、芹沢光治良著の「巴里に死す」。この本は友人よりすすめられたもので、一気に読みおえたこと。この作品を通じて〝人間の生き方〟をさらに深く考えさせられた。今も友人に感謝している。

これらの三冊、機会があれば再読したいが、昔のような感動が得られるか不安である。（有福健28　院修法　関西大学法学部事務長）

創作キャンパス
正倉院御物〝錦〟より
松井　繁

元旦は明き心に世を忘れ
素直に祝がむ屠蘇はうましと
調停時しみじみ思う吾もともに
生の悩みと闘う場かと
流行りゐるじょんから節は聴くたびに
贅女(ごぜ)彷彿とわが魂ゆする

いまでも通用〝航空の古典〟

井上　成章（昭14専二法）

セミナールの必要から当時（昭十七年）もう古本屋にしかなかった、故・正井敬次先生（のち学長）の学位請求論文「貨幣価値の研究」を詳読。これが奇縁となって三十八年ものちに、南米で相場ブラジル日本文化協会長と、同書を通じて恩師を語りあえたのは、まことに感激であった。

また予科一年生の頃（昭和十四年）。戦時下発禁の書であったプロレタリア文学、北条民雄の「いのちの初夜」、小林多喜二の「蟹工船の初版本」など、いま北大教授の金田弘夫君とともに回し読みしたことも懐かしい。

学部は経商学部なのに、クラブが航空部のため、岡田武松著の「気象学　上・下」、小川太一郎の「飛行力学」、猶崎敏雄の「航空政策論」、藤田雄蔵の「航空の技術と精神」などを愛読した。これらは、いまでも立派に通用する〝航空の古典〟であろう。（苗村七郎18大経　㈱民芸関社長）。

新刊紹介

塚口義信著　神功皇后伝説―の研究

著者は昭和四十七年、本学大学院修士課程修了後、関大一高一中教諭として勤務する傍ら、昭和五十年より本学講師として、常に新鮮な問題意識と情熱的な学問愛をもって古代史を講じ、学生に敬愛されて来た人である。なお本務としては昭和五十二年より愛泉女子短大（現在堺女子短大と改称）に勤務し、現在助教授である。

本書は著者が学生時代以来、精力的にとりくんで来た古代史上謎の人物とされた神功皇后像の解明をなしとげた一連の論文を集めたもので、専門誌に発表されることに学界の注目と賞讃を浴びて来た研究である。

とくに第一章「大帯日売考」は、『日本書紀研究』第五冊に発表されたとき、故三品彰英博士の激賞を受けた著者の出世作である。それまでの学界の神功皇后研究の通有の方法は、神功皇后は、後代七、八世紀頃に机上で仮構されたもので、とくに持統天皇などのすぐれた女性をモデルとして造作されたとする、いわゆる〝モデル論〟が主流学説だった。

こうしたモデル論は神武天皇、応神天皇、日本武尊などの古代史上の人物の分析にも応用されていた。著者はこうした主流の学説に対して疑問を抱いた。その第一の根拠は、中央官廷史家が後世に造作したにしては、「風土記」所載の地方民間の伝説として流布する神功伝説をどう解釈するのか。それは七、八世紀の中央史家の造作とは異なる、より古い口頭伝承としての根を持つものではないかという疑問である。常陸、播磨、肥前その他の風土記に神功伝説は語られている。とくに播磨のそれにいて、景行天皇がオオタラシヒコの名で語られているのと対をなす。その伝説には、記紀に見える政治的な神功像と異なる俗的な素朴な姿がある。神功の子である応神天皇に関しても、そういうことがいえる。神功と応神の相関の姿に母子神的な信仰さえ見える。

次に神功皇后像を架空といえない他の有力な根拠は、その出自である息長氏という氏族で、舒明天皇の祖母がその氏の出である。舒明の子である天武天皇が記紀の修史を開始するときに、そこまで系譜を偽作しようがない。本書の第二論文「神功皇后伝説の形成とその意義」はそれを解明する。第三論文「『日本書紀』応神天皇即位前紀の『一六』について」は、応神伝説の民俗学的な視点からの考察で、とくに成年式儀礼としての解釈を豊富な民俗例から行っている。

第四論文「香椎廟の創建年代について―オホタラシヒメと八幡神―」は、古代九州の民間信仰の厚い神であった宇佐八幡と、オホタラシヒメの関係の研究で、後代史料である「八幡愚童訓」「宇佐宮記宣集」等にのせる民間伝承を援用して、神功皇后伝説原像の民俗的形成過程を明らかにする。

息長氏は古代史上別の謎の人物である継体天皇と何重にも姻戚関係をもつ。従来の研究は、息長氏の本貫を近江の坂田郡としたため、研究に限界があった。著者は息長氏が山城南部の綴喜郡に一大本拠があったことを実証し、その付近に本拠をもつワニ氏等との関係を証し、とくに継体が筒城に宮を置いた必然性を解明する。第五論文「継体天皇と息長氏」は継体研究に新生面を開いた。第六論文「佐紀盾列古墳群に関する一考察」は、これと関連し、神功陵、成務陵、垂仁陵、日葉酢媛陵などが綴喜郡のすぐ南にある理由を自然に合理的に説明できる理由を与える。

第七論文「神功皇后の出自系譜に関する一考察」は上記諸論文を総合し、体系化したもので、著者は、古代伝承はモデル論などのように机上で作られるものではなく、ある事実の核を中心に民俗信仰などを長年にわたり加えつつ、雪だるま式に形成されることを論証する。第八論文「武内宿称伝説の形成」も、神功と関連深い謎の人物武内宿称像も雪だるま式に形成されたものであることを論証し、モデル論の非を明らかにする。

以上紹介文としては、意を尽さないが、本学出身の若き新鋭史家の熱気あふれる力作を校友諸氏に推薦し、一読を乞いたいと思う。（孤鬼園）

大阪創元社刊二九四頁、定価二八〇〇円

行事と集い

◆姫路支部総会　4月3日（金）午後5時半　松びし本店
◆愛知支部総会　4月3日（金）午後6時　名鉄グランドホテル
◆関西大学入学式　4月8日（水）
◆関大大学院入学式　4月10日（金）
◆千里山十八会総会　4月23日（木）宗右衛門町　川富
◆大淀支部総会　5月10日（日）
◆八尾支部総会　5月16日（土）午後5時半　大黒殿
◆女子秀麗会第4回総会　5月23日（土）関西大学会館

ご冥福を祈ります

矢野　兼三氏（㈱　二月十九日、八十四歳の天寿を全うされた。
大正八年専門部法科在学中に高文・行政科合格、内務省に入り、昭和十三年富山県知事、十七年スマトラ西海岸州長官を歴任した。蓬矢と号し、ホトトギス派の詩人。晩年は落北大原に隠棲。
一遺族は〒601―12京都市左京区大原草生町一〇に。ふみ子夫人。

坂本　弥三郎氏（元・経済学部教授）二月二十日、八十六歳の天寿を全うされた。
神戸大経済学部長等を経て昭和三十三年退官後、本学経済学部教授などを務めた。専攻は理論経済学、経済学史。
一遺族は〒662西宮市南郷町九ノ四九に長男俊氏。

神宅　シズエさん（故神宅寿恵・元法人理事長の妻）三月九日死亡、七十二歳。
一遺族は、〒530大阪市北区西天満三ノ三四に、長男寿昭氏。

辻　太作氏（7大経・日本ペイント顧問）三月十一日死去、七十四歳。
一遺族は、〒560豊中市刀根山一ノ七ノ二〇に、長男順太郎氏。

森本　茂雄氏（14大法・元毎日新聞東京社会事業団事務局長）三月十四日死去、六十五歳。
一遺族は、〒249逗子市小坪一ノ一四ノ一三に長男薫氏。

山本　太一氏（一高・一中の山本彰教論の父）三月十五日死去。七十六歳。
一遺族は、〒579東大阪市新池島町一ノ三ノ五に。

濱本工運株式会社
濱本工機株式会社
取締役社長　濱本正吉
（昭和14年大法卒）
本社・兵庫県尼崎市西本町3丁目1番地
電話大阪412―2161―3
鋼管支社　尼崎市東高須町1　電話大阪413―2181
神崎営業所　尼崎市扶桑町2―1　電話大阪401―4975
南浜営業所　尼崎市東海岸町　電話大阪409―1641
滋賀営業所　滋賀県甲賀郡甲西町正福寺榎15　電話07487―2―1901～2

岡山建設株式会社
代表取締役　岡本新作
取締役　木村勝重
監査役　小林正立
本社　〒541　大阪市東区北久太郎町5丁目22　電話大阪(06)251―5551(代)
豊岡営業所　〒668　豊岡市九日市下町字青屋207―1　電話(07962)3―1594
泉北営業所　〒590-01　大阪府堺市栂361―1　電話(0722)91―9621番・9622番

営業科目
化学陶磁器部・機械器具部
工事部（耐酸工事・タイル工事・サッシ工事・造園工事）
公害防止機器並に装置
貸ビル・貸マンション
ヤノシゲ株式会社
取締役社長　矢野文雄
大阪市北区西天満六―八―二　ヤノシゲビル
電話（364）一〇五一番（代表）

80年代に躍進を続ける
印刷の東洋紙業
印刷の果たす役割がますます重要となる80年代東洋紙業はつねに新時代の知識、技術の開発と導入につとめ、みなさまのご要望におこたえすべく日夜研鑽にはげんでいます。
そしていま、印刷業界でのランキング全国第4位、「印刷の東洋紙業」とよばれ、ひろくみなさまよりあついご信頼をいただいています。
つねに新しい提案を　考える印刷を使命とします
東洋紙業株式会社
本社：大阪市浪速区芦原1―3　☎(06)568-0011(大代表)　〒556
東京支社：東京都品川区南品川16―1　☎(03)474-3251(代表)　〒140
工場：関西／芦原、平野、美原、東大阪　関東／品川、横浜、王子
営業所：札幌、広島、九州
営業品目：商業印刷、出版印刷、ビジネスフォーム印刷、各種紙器

馬上豊かな俳人
知事・矢野先輩
安田　倫蔵

春光にまず立山を仰ぎけり。
大正の中期、夜学の関大専門部在学中、難関の高文行政科に合格した〝努力の秀才〟矢野兼三さん（推）が昭和十三年、戦前ただ一人の〝校友知事〟として富山県へ赴任されたとき、はるかに白銀にかがやく立山連峰をよんだ句で、若き日の〝良二千石〟の気概がうかがえるようだ。
当時は満洲事変から中国全土に戦線が拡大し、国家総動員法が発令された非常時局で、矢野知事は中央での知事会議等で目覚ましい活躍されるとともに、道路事情の悪い富山県下の隅々には、馬を馳って督励して回った雄姿は、頼もしい知事としていまだに語りぐさになっている。
当時県内在住校友は十六人で、母校が生んだ最初の校友知事を擁して、十五年六月二十五日、神通川畔の「千歳」で支部を結成、初代支部長に矢野知事を推し、在任中何かとお世話いただいた。
今年の支部創立四十年記念総会には、ぜひ矢野大先輩をお迎えしたいと話し合っていた矢先、長逝に遭い痛惜に堪えない。謹んで、ご冥福をお祈りします。
虚子門下の逸材で、蓬矢と号し句集「赤道橋」、随筆「濱物石」「工場風景」「村を廻る」などの著書があった。
（9大法・校友会富山支部長）

新聞発行協力金協賛者芳名
（五十五年十一月八日分まで）

後藤廣次郎（昭54）　金光徹（昭47）　仙野牧夫（昭33）　岡森和典（昭53）　石原　興（昭33）　筒井淳造（昭10）　竹田博美（昭33）　高木秀玄（昭49）　二本柳貫夫（昭46）　鵜謙三（昭24）　中野晴夫（昭45）　高岡幸弘（昭36）　新保賀世（昭51）　橋詰利昭（昭45）　上原邦子（昭41）　田中勝治（昭42）　福田博朗（昭46）　義政孝夫（昭52）　西田義一（昭48）　筆口秀一郎（昭50）　西本長雄（昭50）　木村勇市（昭36）　百合山義和（昭47）　平井博（昭30）　田井順一（昭48）　福地一郎（昭23）　倉光安峯（昭14）　山口高志（昭48）　鈴木光良（昭43）　川住康男（昭33）　田井地万郎（昭48）　秋月成夫（昭44）　石原　昭（昭33）　岡森和典（昭53）　高津和彦（昭49）　藤井雅嗣（昭53）　斉藤　修（昭45）　中村義志（昭54）　松下和雄（昭52）　岩崎利彦（昭42）　田村俊郎（昭51）　野村晴雄（昭39）　山添卓爾（昭40）　田中信明（昭52）　木村和彦（昭50）　田中利勝（昭42）　福富　薫（昭54）　荒池敏秦（昭50）　藤田　学（昭53）　喜田嘉子（昭54）　茶木秀男（昭51）　藤井雅嗣（昭53）　斉藤　修（昭45）　中村義志（昭54）　松下和雄（昭52）　西田貴一（昭48